



## 6/16, 17 第26回四国高等学校 空手道選手権大会



昨年開催されたえひめ国体のレガシー（国体のために整備された競技施設や用具）を使用した最初の大会として伊予三島運動公園体育館で開催されました。大会に出場した川之江高校空手道部は、男子団体組手の部において準優勝の好成績を収めました。  
（写真提供：川之江高校写真部 高橋萌さん）

## 6/18 第11回書道パフォーマンス甲子園 大会 PR ポスターなど発表



PRポスターは、三島高校2年山内天音<sup>あまね</sup>さんがデザインしました。キャッチコピーは、川之江高校3年越智未来<sup>みらい</sup>さん発案の「筆よ舞え想いの華よ紙に咲け」に決まりました。ほかにもパンフレット裏面、オリジナルTシャツ、オリジナル保冷袋も市内の高校生がデザインし、それぞれ発表されました。

## 6/20 NTTタウンページ・防災タウンページ 贈呈



NTTタウンページ株式会社（四国営業本部松本四朗本部長）から贈呈されました。タウンページには、本市の暮らしに役立つ行政情報が「市民便利帳」として掲載。また別冊の防災タウンページには、避難場所や公衆電話の情報、災害への備えや対処法などが掲載されており、各家庭などに配布されています。

## 6/20 土居東認定こども園（仮称）起工式



土居町津根の建設予定地で行われました。同園は、本市で初めての公立認定こども園で、土居町東部の子育て支援の拠点施設として整備され、0歳から小学校就学前園児の発達を踏まえ、充実した教育・保育環境を提供し、小学校教育への円滑な接続を目指します。なお、平成31年4月から供用開始予定です。

## 6/21 宇摩歯科医師会が歯牙保存液・幼児用 歯ブラシを寄贈



宇摩歯科医師会（野村信治会長）から寄贈されました。歯牙保存液は、スポーツなどで万が一歯が抜けた場合などの緊急保存液です。歯の根元にある歯根膜が生きていれば歯を元の位置に戻すことで再び機能を回復できる可能性があり、市内の保育園や幼稚園、小・中学校、市民体育館などに常備されます。

## 6/21 日本善行会平成30年度春季善行表彰 受賞者の市長表敬訪問



川之江高校野球部（青少年善行：野球部活動による環境美化）と松柏小学校緑の少年団（青少年善行：公共生活への貢献）が受賞したことを市長に報告しました。篠原市長は、「後輩に伝統を引き継ぎ、しっかりと頑張ってください」と激励しました。



6/23 消防技術署内選考会  
(レスキュー競技会 2018)



消防防災センターで開催されました。第47回消防技術四国地区指導会への出場を目指し署内4チームが「乗り越える」「登る」「濃煙を通過する」など、災害現場のさまざまな障害を想定した障害突破という種目で競いました。見学した人たちは、消防隊員の速く、正確な動きに見入っていました。

7/2 社会を明るくする運動



市役所周辺で、社会を明るくする運動の啓発パレードが行われました。東保育園の園児による鼓隊演奏などの出発式が行われた後、四国中央地区保護司会や更生保護女性会などの会員、市推進委員会など約200人が炎天下のなか、犯罪や非行のない社会の実現を目指す活動の推進を懸命に呼びかけていました。

7/2 川之江高校放送部、空手道部全国大会出場報告会



放送部は、NHK杯全国高校放送コンテスト愛媛県大会にて創作ラジオドラマ部門で最優秀賞受賞、ラジオドキュメント部門で優秀賞を受賞し、国立オリンピック記念青少年総合センターなどで開催される大会に出場します。また空手道部は、愛媛県高等学校総合体育大会愛媛県大会空手道競技男子団体組手の部において優勝し、岐阜メモリアルセンター（で愛ドーム）で開催される平成30年度全国高等学校総合体育大会空手道競技大会に出場します。篠原市長は、「しっかりと戦ってほしい。納得のいく放送、試合ができるよう祈念しています」と激励しました。

「赤坂見附 歩道橋」

市長の  
ひとひごと



四国中央市長  
篠原 実

中国四国土地改良事業団体連合会の次年度予算陳情で、中四国の県代表のみなさんと農林水産省や自民党本部に行ってきた。宿泊しているホテルから見える眼下の道路はタクシーでいっぱいである。みんな商売になるのかな、なんて思ったりする。ホテルと繁華街を結ぶ歩道橋がある。その歩道橋には、今も若い頃の記憶に頭も胸もいっぱいになる感慨が充満する。

いろんな人間の出会いや、一瞬にして真つ暗になる出来事もある。古希近い年齢になっても、さまざまな思いを紡いでくれる人生に感謝をしたい。この一瞬にも多くの人が、その歩道橋を歩いていて。若い人が圧倒的に多いが、年長者もそれなりにいる。みんなその人その人の人生の二度と戻らない現在を歩いているのだ。苦しみ、悩み、喜び、生きているからこそその五感を財産として、精いっぱい担いで頑張つてねと、聞こえない声で声をかけてみたくなる。ホテルの窓から、大都会の風景が広がっている。赤坂見附：都会中の大都会である。

…でも不思議なけれど、この年まで東京に住みたいと思つたことは一度もない。今も難問山積で、みんなに苦労をかけている。ある先輩が、この世で起きたことはこの世で解決するから、布団の中に入つてまで心配するな！と励ましてくれたことがあった。その言葉を信じて、今日も頑張らなくちゃねと思う！

